



おかむら通信 185号

令和2年9月号

<ご挨拶>

みなさん、こんにちは、

皆様のご協力のおかげで、庸介先生とともに、この新型コロナウイルス感染が広まる中でスタッフの感染もなく頑張れています。たいへん感謝いたします。



<院長より>

私の考えをお示しいたします。いまだに、PCR検査を徹底しなくてよいという情報が流されていますが、少なくとも臨床医の立場からすると、まことに遺憾です。

どんな病気ひとつとっても、それを治療する医師にとって、まず診断が必要です。当院では、患者さんと接した時、即、ありうる疾病を予想し、同時に検査し、診断がついたらすぐ治療を開始する、これが私のやり方です。

世界各国で、早期診断のため、新型コロナのためのPCR検査を徹底しないのは、ほぼ日本だけです。台湾、中国、韓国、、、。海外で活躍するドクター達、日本人のドクターも含めて、我が国のコロナに対する治療のシステムにかなり違和感を述べています。

<今月の言葉> 以下、みなさん どう思いますか？

子曰く、利を放いままにして行えば、怨みを多くす。

意味：自分の利益ばかり追い求めていくと、いろんなところで怨みをかけてしまうということ、
孔子



*院長より、追加

- 1 まだまだ心の病気が増えています。したがって外来の診察時間がどうしても長引きます。どうにかするように努力します。
- 2 コロナの下、どうしても、かなり運動不足になっていますね。でも何かしらの努力を皆さんはされているのがわかりました。そんなに体重が増えていないのです。たまに下肢のむくみを訴えられる方もいますが、腎機能も、心機能も、悪くなく、貧血もないのに。これは水分 塩分がおおかったり、立ち仕事をめいっぱいされてはいませんか？
- 3 ご自分のお家で「どこでも体操」をされるのはいかがでしょうか？ 私は、





スクワットを適当にアレンジしてやっています。マスクをつけて空手の型の稽古を再開しました。

4 しかし気になることがあります。何やかや、いま、大多数の方々が注意されているのに、近くの飲食店や、旅行などでけっこう密にひと対ひとを平気でやっておられる方が増えてきています。他の方に大変迷惑をかける可能性が高いことです。

5 いま、当院にかかれる患者さんに、絶対なあってほしくないことの一つは、突然の脳卒中（脳内出血、広範囲な脳梗塞、）で入院しそのまま何年も何年も自分の意思ではなにもままならずただ施設に生き長らえることです。

6 そろそろ 学校検診が始まります。国のだれがゴーサインを出したのかは知りませんが、いま現場では、とても大変なご苦労が 学校側にも生徒にも、医師の方にも、起きています。限りなくほぼ完ぺきなまでのコロナの感染防御が必要です。いちどでもいいのです、この国の政治家、役人に現場を見に来ていただくとよいと思います。

**

今、だんだんと、往診が増えています。患者さんの依頼、ご希望に沿った形で行っています。在宅医療のような完ぺきな治療にはこだわらず、現場で診察、投薬、お話も時間をかけて、行います。必要なら入院もありますが、希望しない方々が多いのが現状です。



<8月の院長の活動>

20/ (木) 糸東流 空手 稽古

27 (木) 糸東流 空手 審査にて2級に昇級しました。 段までもう少し。



千葉に越して来て もりすぐ4ヶ月になります。晴れた日の空のキレイさ、大樹木の緑が立派な街並み、売ってる野菜が大きい など、こちらに来てよかったですー と思いました。まだまだ暑さが続いておりますのでお身体大切にしてください。宮田

